

武市見物

云ふは遠からん

武市見物（二）

鹿野久市郎

そもそも武市云ふは遠からんものは「時報」にて讀めなからんものは巴里に次ぐものである。獨逸船の一等室に熱に苦しむ見よ。南米一大都會寄つて目に見よ。南米一大都會檜一箇つて過した僕は十五日朝七時着いたのである。

今迄は船室に籠城して居つたモノビデテ歸りの美人等がぞろぞろサロンに出て歩き廻る。用がないのに吾があで姿見よとて縱横斜に歩き廻る。投げ出した吾が足に躊躇して危く頗び掛けたなごは尤物中の尤物であった。

荷馬車の輪が甚だ大きい。市況稻活潑を語る。辻馬車に乗るもの必ずしも上京者のみとは限らぬ。か成りの別嬪も乗つて。自動車が辻馬車と同じくタキシで行く。一走り五十錢位である。自動車の高いのは其珍しいことを語りやがて野蟹未開の證據である。電車は東京の電車と同様で側面からは飛び乗れぬ。中に通路を残し左右に汽車の一等室にある様な藤椅子が二箇宛ある。一つに續いてるから込み合はぬ時には一人横暴勿論だから窓ぎはの職工が下り様とする時にも中の美人は立つて道を開く。美人が側に座らせて呉れなぞ頼んだ時には大に満足を感じる次第である。勿論だから窓ぎはの職工が下り様とする時にも中の美人は立つて道を開く。美人に溺れず弱を苦しめるは吾人の主義なり。腰々立つて席を譲つてやる。若し夫れ蒙古人は白人に座を譲るの義務あり等云ふ如く尻振り來る女あらば立つて袴の裾の塵ふるふ眞似して悠々ふたゝび着座する東京以來の慣用手段をやつてやる。

電車は殆んど總の路を通つて居概して單線である。通りが狹いからである。一の路を南より北へ通ふと

田舎を歩いて（六）
時報記者足下、マトグロンと云ばカンボグランドを意味する程で此町に於ける邦人の發展は大るものである、人口約五千の内一割即ち日本人で而も其約半數は獨立して居るのは、やゝもすれば邪魔者を營んで居るものであるから、從ひにされる日本人として實に肩身廣きを感じる次第である。
邦人の經營にかかる事業を列舉れば（大正八年四月現在）

●問 息妻昨年分娩後二十五
月以上病室に居り入耕後は時
々少しく薄くなり明に見へず誠
居り候療法御教示願上候（尙
の冷水浴を致し居り候が如何
（鹿兒島縣）
○答 第着に藥品の積りで、
を取る事特に目下の場合は鶴
を毎日食へば大いに効果があ
薬は肝油 Olio Triplex 150.0 g
(五日分)之れを一日三回水に
てグット飲むと宜敷い冷水浴
なりません

田舎を歩いて（六）

衛生欄

米作家歩合族募集

德

甲

